



Q：高倉健さんが悪性リンパ腫で亡くなりました。どのような病気でしょうか。

A：骨髄において、造血幹細胞が分化・成熟して白血球ができ、顆粒球・単球・リンパ球に分かれます。この段階でリンパ球が腫瘍化して、骨髄で異常増殖した場合はリンパ性白血病となります。リンパ球はさらに分化して、Bリンパ球、Tリンパ球、NKリンパ球となり、全身のリンパ系組織に移動します。

リンパ系組織とは、ヒトの免疫システムを構成するもので、リンパ節・胸腺・脾臓・へんとうなどの臓器や組織と、リンパ節をつなぐリンパ管・そ

の中を流れるリンパ液・そしてリンパ球から成りますが、この段階でリンパ球が腫瘍化した場合、悪性リンパ腫となります。したがって、悪性リンパ腫の場合はリンパ節で起こり、血液やリンパ液にのって容易に全身に進展します。

症状として最も多いのは、リンパ節の腫脹で、頸部や腋窩、鼠径部などに多くみられますが、痛みを伴わないのが



特徴です。また、腫瘍化したリンパ球が全身を巡ることにより、全身倦怠感、体重減少、発熱が続く、寝汗をかくなどの全身症状が起こります。

(岡田俊一・おくだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801